

その他の建設業－その他における石、砂、砂利を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
4	11～12	処分場コンクリートがら置場横にて小割作業をしていた時に、鉄筋の付いているがらを分別していたところ、引っぱった反動で、上のコンクリートの塊がすべり落ちてきて右手親指をはさんで粉碎骨折を負った。	31	30～49
7	15～16	K-2岸壁荷捌地にて本船から揚げられた製材を被災者は7tフォークリフトを運転し、所定の位置まで運搬、配付け作業を行っていた。そして既に配付けされていた製材6束6段（1束：長さ4m幅0.7m高さ0.8m重量約1.5トン）の前に製材2束を配付けしようとしたところ、製材6束の配がくずれてきて、最上段の1束がフォークリフトヘッドガードに落下し押しつぶれたヘッドガードと座席に挟まれ負傷したものである。	43	1～9
7	7～8	土木建築材料店に材料引取りに出向いた際、資材をダンプに積み込むためステップとして積んである敷石に乗り、ダンプの荷台に乗ろうとしたところ、敷石が崩れ、崩れた石が左足に落ち、足（踵）が挟まれ、踝辺りを切創した。	25	1～9
9	11～12	資材置場にて、廃材分別中に、ブロックベイがたおれてきて、右足の足首とふくらはぎを骨折した。	20	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html